



人ある限り人権を

やまびこ人権文化センター

2024年10月

発行 やまびこ人権文化センター 倉吉市中河原 772-6 TEL/FAX 0858-28-4265

カラーユニバーサルデザインの検証を実施!

9月20日(金)にやまびこ人権文化センターで色弱当事者の方を講師に招き、色づかいに配慮した施設づくりに向けた検証を行いました。

カラーユニバーサルデザインとは



色覚(色の感じ方)は、味覚や嗅覚と同じように実は人それぞれに違います。

誰に対してもきちんと正しい情報が伝わるように、色の使い方などにあらかじめ配慮することを「カラーユニバーサルデザイン」(カラーUD)といいます。

2色以上の色を使うときや写真などの上に文字をのせるときには、できるだけ多くの人が見分けることができる色づかいを行い、その上で形や塗り分けなどを併用することで、「読めない」「使いづらい」といった状態を解消し、出来るだけ多くの人に情報が正確に伝わるようあらかじめ配慮する「色のバリアフリー」の取組です。



検証でわかった施設の改善点

- ・火災報知器表示灯の赤ランプを赤色 LED 電球に交換する。
- ・強調したい表示は、赤などの色を変えて強調するよりアンダーライン付きや文字を大きく、太くして強調する。
- ・避難経路図の矢印を非常口まで延ばす。
- ・ランプ付スイッチの「入」「切」横に文字表示を貼る。
- ・ホワイトボードの赤色マーカーを橙色に変更する。 など

【今月のやまびこサロン・やまびこデイ】

やまびこサロン 10月10日(木) 10:00~11:30

「リースデコレーション」講師：北村 仁美さん

※場所は「やまびこ人権文化センター・小鴨コミュニティセンター」 参加費 100円

★やまびこデイ 10:00~11:00

西 鴨 10月 3日(木)

天神野 10月 17日(木)

中河原二 10月 24日(木)



※西鴨・中河原二は「バランスボールで弾もう!」を開催します。

天神野は11月14日に開催します! お楽しみに!!!

小鴨地区同和教育研究会

長島愛生園で「隔離の歴史に学ぶ」

小鴨地区同和教育研究会の視察研修として、9月7日(土)に岡山県瀬戸内市にある「国立療養所長島愛生園」を24名で訪問しました。

国立療養所長島愛生園は、昭和5年に日本初のハンセン病療養国立療養所として誕生し、国の政策として療養所への隔離が行われていました。



学芸員からの説明を受けながら、歴史館と歴史回廊(患者収容棧橋、収容所、監房、納骨堂など)を見学しました。当時の入所者が見た景色を追体験することで、自分の中の差別や偏見について考えるきっかけになりました。

視察の中で、今もなお偏見や差別が根強くあり、社会復帰や地域との交流を阻む大きな壁となり、本当の意味での解決になっていない現状に気づかされました。

ハンセン病の隔離政策による様々な偏見や差別など、私たち一人ひとりが向き合っていかなければならない大切な問題として認識する貴重な一日となりました。

町内学習会 レポート 天神野自治公民館

約30人近くの方が参加する中、DVD「12年後の決断～吉岡綾」の視聴と意見交換が行われました。DVDの中で、主人公の吉岡さんは「私の喋り方、イントネーション、変でしょ? 出身を隠したかったからなんです。部落差別の恐怖は、私の話し方や物言いまで変えてしまった。」「これまで部落差別体験は4度あります。21歳のときの話は必ずします。今の私があるのは、その体験があったからです」と、タクシーの乗車拒否、職場での差別、元婚約者からの差別、21歳のときの結婚に際しての被差別体験を告白されました。

視聴後の意見交換では

・天神野を見渡すと、空き家と高齢者が増えてきている。天神野は過疎化して元気がないまちになってしまった。元気の溢れるまちにするための話し合いが出来たらよいと思う。

・私は天神野の仲間がいて、町内の繋がりの中で助けられて生きてきた。「部落問題」も大事、「部落」の中にある様々な問題も大事。

生活文化部長さんの進行で、多くの参加者から意見や感想を聞くことができ、町内学習会の場が「地域の課題や地域で出来ること」を考える機会となりました。(山)

困りごとや人権侵害 一人で悩まないで 人権文化センターは身近な相談窓口です

人権文化センターは、子どもから高齢者までの様々な人権問題や生活の困りごとについての相談に応じています。市の窓口や関係機関の紹介など随時対応していますので、お気軽にご相談ください。

差別落書き・差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課(☎22-8130)または、やまびこ人権文化センター(☎28-4265)にご連絡ください。

